

記載例

様式第43（第71条関係）

規制区	市町村コード	事業所コード							
※	※			※					
1	2	3	4	5	6	7	8		

地下水揚水量報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

豊田市長様

住所 〇〇市〇〇町〇〇番地

報告者 郵便番号 〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇工業株式会社

氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

(名称及び代表者氏名)

県民の生活環境の保全等に関する条例第63条の規定により、地下水の揚水量について、次のとおり報告します。

工場又は事業場の名称	〇〇工業(株) 〇〇工場				※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地				※ 受理年月日	
揚水設備本数(本)	〇本				年間使用量の総計を365日(うるう年は366日)で除した値を記入。(該当部分のみ記載)	
揚水設備の揚水機の吐出口の断面積(cm ²)	〇cm ²					
水源別水使用量(m ³ /日)及びその割合	上水道 〇〇 (〇〇%)	工業用水道 〇〇 (〇〇%)	地下水 〇〇 (〇〇%)	地表水 〇〇 (〇〇%)	※ 備考	
	伏流水	回収水	海水	その他		
	〇〇 (〇〇%)	〇〇 (〇〇%)	〇〇 (〇〇%)	〇〇 (〇〇%)	別紙「地下水揚水量報告書内訳表」の地下水揚水量の欄の「年間総揚水量」と同じ数値。	
揚水設備の地下水の総揚水量	〇〇〇 m ³ /年				(〇〇〇 m ³ /年のとおり。)	

- 備考
- 1 地表水とは、河川、湖沼又は貯水池から取水する水をいう。
 - 2 伏流水とは、河川敷又は旧河川敷内において集水埋きよによって取水する水をいう。
 - 3 その他とは、例えば農業用水路から取水した水、他工場等から供給を受ける水等をいう。
 - 4 連絡責任者の所属は、氏名及び電話番号を記載した書類を添付すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

記載例

揚水設備使用届出書あるいは水量測定器設置報告書により届出した名称又は番号を記入してください。

地下水揚水量報告書内訳表（〇〇年度）

年度とは4月1日から翌年3月31日のことを言います。

1. 揚水設備の現況及び稼働状況

揚水設備 の名称 又は番号	揚水設備の現況			稼働状況（日）														備考
	ストレーナーの位置 （m～m）	揚水設備 の設置 年月日	揚水機 の型式	揚水機の 原動機の 定格出力 （kw）	揚水機の 吐出口の 断面積 （cm ² ）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東第1号井	130.0～145.0,270.0～285.0	44.6.1	水中モーター	22	122.66	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	54年4月 1日より 休止（故障 のため）
2号井	12.0～13.0,23.0～25.0	42.5.1	うず巻	3.7	19.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中央第1号井	150.5～190.3,290.0～300.0	48.11.26	タービン	19	78.50	0	0	0	0	0	(2)	(3)	(2)	0	0	0	0	
西第1号井	121.0～140.0,270.0～290.3	49.12.20	水中モーター	22	122.66	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	

地表面から採水部（上端から下端まで）の位置を記入してください。

揚水機の稼働日数を記入してください。

休止・廃止した場合には、その年月日及びその理由を記入してください

水量測定器が故障しても揚水設備が稼働していた場合は、稼働日数を(2)のように括弧書きで記入してください。

2. 地下水位の状況

揚水設備の 名称又は番号		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		項目												
東第1号井	地下 水位	揚水水位	16日 20.0m	17日 20.0m	19日 21.2m	26日 21.5m	15日 21.2m	26日 21.5m	23日 20.4m	20日 20.0m	25日 19.8m	22日 19.5m	26日 19.5m	18日 18.9m
		静止水位	0.5時間 14.3m	0.4時間 14.5m	0.5時間 14.5m	0.5時間 15.1m	0.6時間 14.8m	0.6時間 14.6m	0.5時間 15.1m	0.5時間 14.9m	0.5時間 15.0m	0.6時間 14.5m	0.4時間 14.8m	0.5時間 14.5m

測定した日を記入してください。例えば3月18日は18のように記入。

揚水機の運転中又は運転停止直後の水位（地表からの水面の深さ）を記入してください。

原則として、ストレーナーの位置のもっとも深い揚水設備について記入してください。

揚水機を停止した後における水位（地表からの水面の深さ）を記入してください。

揚水機を停止してからの時間を記入してください。例えば 30 分後の場合 0.5 のように記入。

3. 地下水揚水量（m³）

揚水設備の名称又は番号		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年揚水量（m ³ ）
東第1号井	※		46000	37620	47820	54020	56430	42200	42080	40620	41810	38900	35340	41400	524240
2号井			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央第1号井			0	0	0	3678	0	(3678)	(5517)	(3678)	0	0	0	0	(16551)
西第1号井			114215	124893	116816	149233	138495	129552	103456	84148	87253	68890	49800	57226	1223977

月間地下水揚水量を記入してください。なお、揚水量は、小数点以下は四捨五入し、水量測定器が故障の場合には、推定揚水量を括弧書きで(3678)のように記入してください。位取りの“,”（カンマ）は記入しないでください。

年間総揚水量（m ³ /年）	1764768
平均日揚水量（m ³ /日）	4835

年間総揚水量を 365 日（うるう年にあつては 366 日）で除した数値を小数点以下四捨五入し記入してください。

- ストレーナーの位置については、地表面から採水部（上端から下端まで）の深さを記載し、採水部が2箇所以上あるときは、その位置全部について記載すること。
- 揚水機の型式については、エアークリフト、タービン、うず巻、ボアホール、水中モーター等の型式を記載すること。
- 揚水機の吐出口の断面積については、揚水機本体の水が最後に通過する部分の断面積を平方センチメートルで記載すること。
- 揚水設備の現況及び稼働状況の表の備考欄については、休止の揚水設備に係る休止の理由及び休止年月日を記載すること。
- 地下水位の状況欄については、ストレーナーの位置の最も深い揚水設備の水位を記載すること。
- 揚水水位については、測定日及び揚水機の運転中又は運転停止直後の水面までの深さを記載すること。
- 静止水位については、揚水機の停止時間及び原則として揚水機の運転を数時間停止した後における地下水面までの深さを記載すること。なお、水位の測定は原則として毎月初めに行うこと。
- 平均日揚水量については、年間総揚水量を365日（うるう年にあつては366日）で除したものを記載すること。